

新EasyISTRの紹介

(EasyISTR ver 3.28.210608)

1. FrontISTR-5.2対応
2. plotStepMonitorの起動方法を変更
(バグ修正)
3. 長時間EasyISTRを動かすと、EasyISTRフリーズ
(バグ修正)

1. FrontISTR-5.2対応

FrontISTR-5.2は、cntファイル中にvtkの出力を制御する「!OUTPUT_VIS」が存在すると、「fistr1」が停止してしまう。（Ver-5.0, 5.1は、問題なく走る。）

EasyISTR上では、デフォルト状態では問題ないが、「要素ひずみ」や「節点反力」等の出力を追加すると、「!OUTPUT_VIS」が追加される為、走らなくなる。



「!OUTPUT_RES」の結果を使って、vtkを作成する様に修正。
（「!OUTPUT_VIS」が無くても、EasyISTRがvtkを作成する。）

FistrModel.cntファイルの内容

<従来>

```
      :  
      #####  
      # Output Control #  
      #####  
      !OUTPUT_VIS  
      DISP, ON  
      NMISES, ON  
      NSTRESS, ON  
      EMISES, ON  
      !OUTPUT_RES  
      DISP, ON  
      NMISES, ON  
      NSTRESS, ON  
      EMISES, ON  
      :
```

} !OUTPUT_VIS部

<今回>

```
      :  
      #####  
      # Output Control #  
      #####  
      !OUTPUT_RES  
      DISP, ON  
      NMISES, ON  
      NSTRESS, ON  
      EMISES, ON  
      :  
  
      !OUTPUT_VIS部を削除  
      EasyISTR側でvtkを作成する様に修正
```

2. plotStepMonitorの起動方法を変更

plotStepMonitorを停止させる時、停止の方法によっては、gnuplotが動きっ放しになってしまう。（動きっ放しになっても、CPU負荷は小さい。）

plotStepMonitorの停止は、これを起動した端末を先に閉じる。これによって、全てのgnuplotの画面が閉じる。

（先にgnuplotの画面を閉じると、gnuplotが動きっ放しになってしまう。）

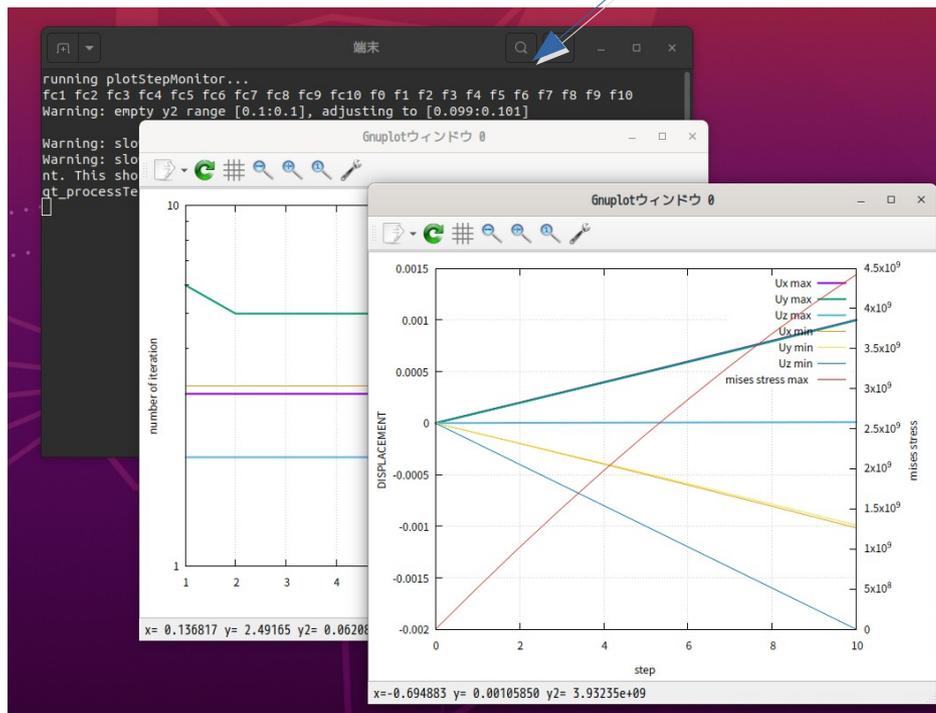


plotStepMonitor起動のベースとなるGUIを作成し、これを閉じると全てのgnuplotが閉じる様に変更。

（先にgnuplot画面を閉じても、ベースのGUIを閉じると全てのgnuplotが閉じる）

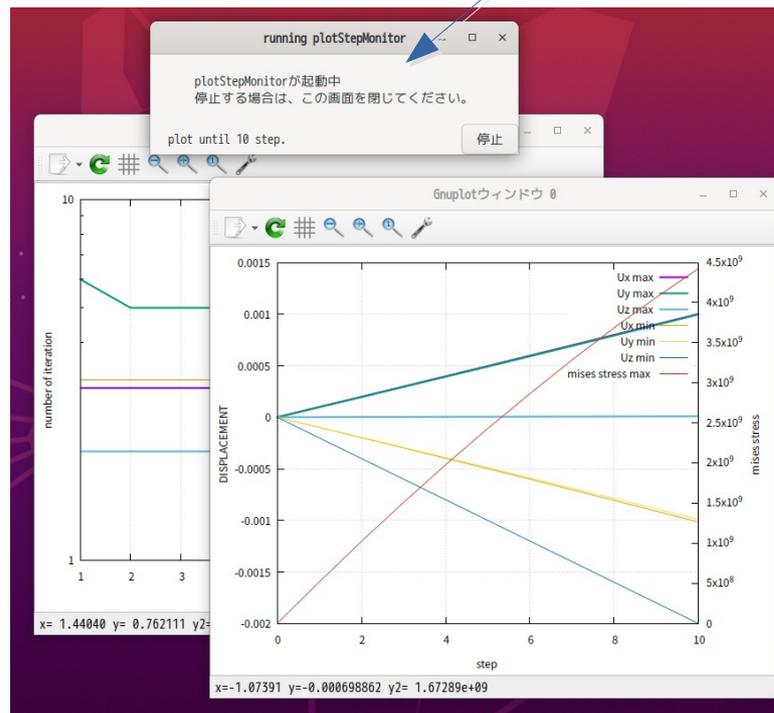
<従来>

起動用端末



<今回>

ベースのGUI



起動用端末を先に閉じないと、gnuplotが停止せず、動きっ放しになる。

gnuplotを管理するベースとなるGUIを作成。閉じる順番は関係なく、ベースのGUIを閉じると、全gnuplotが閉じる。

3. 長時間EasyISTRを動かすと、EasyISTRフリーズ

threadを使ってEasyISTRの表示（HDDの残容量等）を書き換える様に変更したが、thread中でGUIを書き換えると、直ぐにはGUIに反映できない為、定期的にこの処理を行うと、この処理（未処理）が次第に溜まっていき、最終的にGUIがフリーズした状態になる。



thread中でGUIの書き換えは行わず、定期的にtimerEventを発生させ、このeventをmain側が受けて、main側でGUIの書き換えを行う様に修正。